



平成 29 年 10 月発行
発行部数 24,000 部
編集・発行
(公財)横浜市緑の協会
横浜市こども植物園

よこはま こども植物園だより

No.151 (秋号)

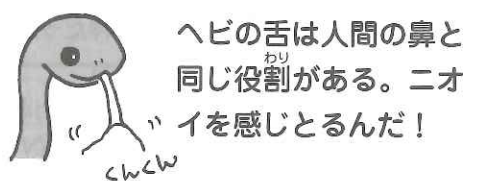
〒232-0066 横浜市内南区六ツ川 3-122
TEL 045-741-1015 FAX 045-742-7604
開園 9:00-16:30 (第3月曜日は休園、祝日の場合は翌日)
<http://www.hama-midorinokyokai.or.jp/kodomo/>

あまり姿を見ないけど自然が豊かなところにはいるへび。
こわがらないで観察してみよう。

へびみたことある？

へびのふしぎ

舌をペロペロ出すぞ！



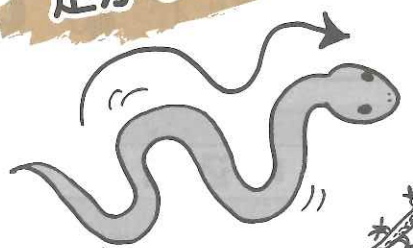
へびの舌は人間の鼻と同じ役割がある。ニオイを感じとるんだ！

脱皮するよ！



人間の「アカ」と同じように、いらなくなった角質層を捨てて成長するため脱皮するのとはちがう。

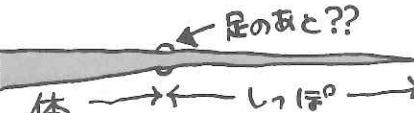
足がない！



トカゲは手足がある

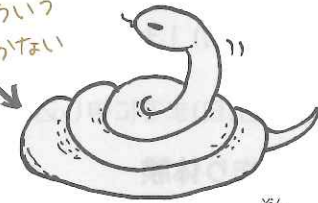
体をくねくねさせて、筋肉の力とウロコの凹凸(デコボコ)で動くんだ。観察してみよう。

注 外国のへびには「足のあとがある」種類もある

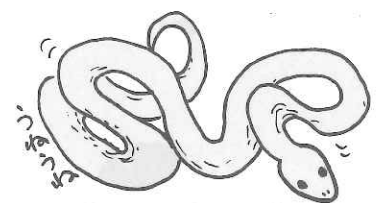


とぐろを巻く

日本のへびはあまりこういう形にまかない



体を小さくして、体力を温存し、あらゆる方向に注意を向けられるんだって



ふつうはこんなかんじ

こども植物園・児童遊園地でときどき見られるへび3種

アオダイショウ(ナミヘビ科)



↑ 100~200 cm 林~人家も ネズミ
日本本土のへびで一番大きい。おとなしい。木のぼりも得意。

シマヘビ(ナミヘビ科)



↑ 80~150 cm 田畑、林、自然豊かなところ
カエル、トカゲなど
地表をはいまわるため、交通事故にあいやすい。町なかには少ない。泳ぎが得意。

ヒバカリ(ナミヘビ科)



↑ 40~60 cm 水辺、田んぼ
オタマジャクシ、ミミズなど

細くて小さい。おとなしいが、追いつめられるといく行動をとるため毒へびと誤解され、かまれたらその日ばかりの命と言われた。

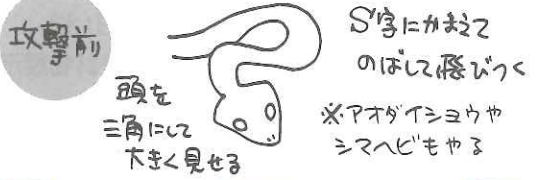
マムシ(クサリヘビ科)



↑ 40~65 cm 林~田畑、水田、池まわり
カエル、ネズミ、トカゲ、へびなど

大きくて短め。やや夜行性。横浜では少なくなっている。毒性が強く全国では咬傷事故も発生している。

！毒があるのはこの2種類！
毒があるぞ



カエルやオタマジャクシが好物なので水辺によくいる

ヤマカガシ(ナミヘビ科)



↑ 70~150 cm 水辺、田んぼ 主にカエル、小魚
オレンジ色と黄色が目立つのでわかりやすいが色の個体差は大きい。

